



第567号

「島のひろば」編集委員会  
電話 04992-2-8256

Eメール・jcposhima@yahoo.co.jp  
www.3.plala.or.jp/jcposhima/

(検索サイトからは「日本共産党 伊豆大島」)

くらしの相談は共産党町議団へ  
山田2-3670 橋本2-3614 小池2-9318

# 舛添知事、「公私混同」の極み ホテル宿泊代、回転ずし・飲食店代も、美術品購入費も原資は税金

連日マスコミが報道している舛添知事の疑惑問題。共産党都議団が、4月7日、「舛添知事の海外出張が一泊20万円など、石原知事を上回る2億円以上の税金を使っている」「豪華海外出張問題を告発。マスコミも大きく報道し、これをきつかけに、政治資金の私的流用疑惑が続出。舛添知事は、自分のことばで具体的に責任ある説明を議会内外で

## 共産党都議団は、徹底究明のため「百条委員会」の設置を提案

しないため、共産党都議団は、辞任を求めながら徹底究明のため、「百条委員会」の設置を各党に提案しています。

### 政党助成金依存が墮落の大本

マスコミはあまり報道していませんが、家族旅行費も、てんぷら店、回転ずし店の飲食費、骨董品や美術品の購入費まで税金である「政党助成金」を原資に使っています。舛添氏が参院議員時代「新党改革第4支部」には8200万円、そこから舛添氏の資金管理団体に3429万円移しています。(12年〜14年) 政党助成金は、毎年300億円以上各政党に配分されています。(下の別表参照)

## 消費税10%は延期でなく中止を

《この道しかない》とこの3年半進めてきた「アベノミクス」(経済政策)で、大企業は、「内部留保」が300兆円を突破するなど、史上最高の利益をあげる一方、実質賃金は5年連続マイナス。個人の消費も消費税8%増税、医療や介護の負担増、年金も減り、景気が低迷。安倍首相の《この道》は、途方もない貧富の格差の拡大をもたらしました。安倍首相は、「アベノミクス」の失敗を素直に認めず、その責任を国際経済のせいにして、突如消費税10%の2年半の延期を決めました。選挙対策みえみえの決定です。

消費税10%は、アベノミクスの失政を繰り返させないために、「延期でなく、きっぱり中止」させましょう。

## 消費税に頼らなくても財源確保は可能

「消費税増税しないで財源はあるのか」との疑問も聞かれます。日本共産党は、「富裕層と大企業への減税バラマキ・課税逃れを正し、負担能力に応じた税制改革」で消費税に頼らない「別の道」を提案しています。(右の表)

政党は自ら汗を流して資金を確保しなくても、税金で運営できるため、「税金依存症」に化かると、公私混同も日常化する、まさに墮落の大本です。日本共産党は、一銭も受けとらず、廃止法案を提案しています。


政党名	配分額
自民党	179億4000万円
民主党	71億9812万円
公明党	29億4112万円
維新の会	28億0478万円
次世代の党	5億8125万円
社民党	4億7015万円
生活の党と日本共産党の共同党	3億3100万円
日本を元気にする会	1億1263万円
新党改革	1億467万円
大躍の党	6021万円

※千円以下切り捨て  
日本共産党 政党助成金の廃止を主張、受け取らず

大企業の優遇税制を改める	6兆円
・研究開発減税などの見直し	4兆円
・法人税率引き下げをやめ、安倍政権以前の水準に戻す(中小企業除く)	2兆円
富裕層など能力に応じて	13.3兆円
・所得税、住民税、相続税の最高税率を元にもどす等	1.7兆円
・富裕税の創設、配当・譲渡所得への課税強化	1.8兆円
・被用者年金や健康保険料等の上限引上げ(高額所得者に適正負担を)	2.2兆円
・為替取引税・環境税など	1.6兆円
・将来的には、応能負担の原則に立ち、所得税の税率に累進的に上乗せ	6.0兆円
歳出・ムダ使いの見直し	3.0兆円
・公共事業費・軍事費、政党助成金(毎年300億円以上)などの浪費をなくす	3.0兆円
合計	22.3兆円

【その他】  
1、「パナマ文書」で有名になった「課税逃れ=タックスヘイブン」を正せば、消費税10%へ引き上げる分に匹敵する税収が見込まれます。  
2、大企業の内部留保300兆円の一部を賃上げなど家計を応援し、所得を増やす経済改革で、税収増をめざす。(10年後に20兆円見込む)

日本共産党は、経済に民主主義を確立するために、①税金の集め方②税金の使い方③働き方、この3つを根本から変えることを提案しています。その実現に全力をつくします。



やまぞえ たく  
**山添 拓**  
参院(東京選挙区)予定候補  
弁護士・31歳

アベノミクスに対案「3つのチェンジ」で、経済に民主主義を

(日本共産党の見解を紹介します。)

# 6月議会一般質問

【会期は  
14日～17日】

## 6月14日(火)

●本宮議員(13時30分～14時20分)

1、三辻町政のとりくむべき諸課題、ほか。

●坂上議員(14時35分～15時15分)

1、日常生活総合支援事業について、ほか。

## 15日(水)

●川寄議員(9時30分～10時30分)

1、大島町の教育について、ほか

◆山田議員(10時45分～11時25分)

1、空き家対策の具体的進展を(空き家対策計画の作成、「協議会」の設置)

2、発達障害児への言語聴覚士による療育活動を。

◆小池議員(13時30分～14時20分)

1、町の広報活動について(国・都・町の補助事業や減免措置等について、検索しやすい環境づくりを)

2、ごみ袋・水道料金の減免措置の拡充を

◆橋本議員(14時35分～15時05分)

1、都立広尾病院の移転改築に際し、新たな島民要望を検討し、都へ要望して頂きたい。

●佐藤議員(15時05分～15時50分)

1、大島町役場組織改革(平成25年4月1日施行)後の現時点における評価と課題、ほか。

# 日本共産党の

## 改革プラン

《シリーズ続報》

「3つのチェンジ」で  
格差ただし、公正な社会を



3はたらき方

チェンジ

●ブラックな働き方をなくし、  
人間らしく働けるルールを

■労働者派遣法を抜本改正し、派遣労働も臨時的・一時的業務にきびしく制限し、正社員の派遣労働への置き換えをなくす。

■過労死を生み出す長時間労働を法律で規制。残業代ゼロの「サービスマネジメント」をなくす。ブラック企業、ブラックバイトを根絶する。

■最低賃金を時給一五〇〇円をめざし、いままですごどこでも一〇〇〇円に。中小企業の賃上げのための本格的支援を行う。全国一律最低賃金制に踏み出す。

■中小企業の振興、中小企業で働く人の賃金格差をなくすため、大企業と中小企業との公正な取引ルールを確立する。

# 大島文学・紀行散策

学者・評論家編

本田正次(まきし) (植物学者) 「大島の春」外 三

441 時得孝良

私にとつてさくらんぼで忘れられないのは、国民学校(今の小学校)4年生の時の恐怖体験である。同級生3人で家の近くの大きな木にのって夢中でさくらんぼを頬張っているときだった。かすかに爆音が聞こえたかと思うと、いきなり耳を劈く音に変わり、続いて、バリバリ、バリバリと機関砲の。木のとんぼらにいたK君が、「やられた」と叫びながら、木から落ちるように姿を消した。私もS君もK君どころではない、わき目もふらず我が家の防空壕をめざした。防空壕では、母親が「トータヤサマ、助けたまい、天理王のミコト」と一心に祈願していた。空襲は、米軍の艦載機による機銃掃射で、風早灯台が標的であったこと、K君も無事であったことが後でわかった。艦載機が姿を消すと、私たちは、木に刺さった機関砲の弾を見つけて、分捕り品気分で胸にぶら下げたものだった。横道に入ったついでに、大島桜についてもう一人の植物学者牧野富太郎の「大島桜」(「続植物記」所載)をここで紹介しておきたい。牧野は、大島ザクラについて、幾千年前と其の年数を言うことは不可能だが、内地の山ザクラ

の種子が一度ひ好機会に乗じて此の島に生えて育ったこと、「海風に吹き尽せられ、海気に中であれ、暑日に照らされ、幸いに土地にも適して漸次に強壯な姿勢を馴致招来して、遂に今日見るが如き大島桜を現出したわけである」と、その来由を述べ、内地の桜と比較して、「枝極も粗大で葉も花も実も大きなものとなり、決して同物とは認むる事ができないまでに進化した」とその特徴を述べている。そして、大島桜の歴史の古い一例として「桜株」を取り上げている。《これは同島唯一の古樹で其の樹は先ず一千年も経っていると言われている程古い且つ巨大な姿を為しているのである。・・・株と呼ぶ名に背かず、直立する丈が頗る低く、其の周囲がコブコブしている。頂はブツ切つたようになつて、其処から大小十三條の枝が章魚の脚かヒドラの枝かのように出で、長い太いやツは蜿蜒して長蛇のノタクツタやうに成り、中には一旦地に付て復び上昇しているものもある。幹の本は却て上方より小く直に地に挿し入れたようになってゐる》(以下次号)